日本医療機能評価機構認定病院

こころのふれあいを何よりも大切に

医療法人　厚生会
道ノ尾病院会報

新星
SHINSEI

2014
Vol.9

CONTENTS

2 理事長・院長あいさつ
新年の抱負

3 新しい精神科医のご紹介
精神保健指定医　佐田 美佐子

4 デイケア20周年を終えて
5 作品・販売のご紹介

6 障害者虐待防止法研修を終えて
行動制限最小化委員会より

7 「べてるの家」を招いて
当事者から学ぶ自立支援

8 時津風親方訪問
地域連携室勉強会のお知らせ

【医療法人厚生会　道ノ尾病院ホームページ】
http://www.michinoo.or.jp
道ノ尾病院　検索

基本理念　患者第一主義

基本方針
■ 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します。
■ 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します。
■ 患者の権利を認識し、尊重します。
■ 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します。
■ 職員研修を行い、常に研鑽に努めます。
■ 健全な病院経営に努めます。
■ 患者の社会復帰に努めます。

新年の抱負

平成26年、新年にあたって―

理事長
松本 純隆

新しい年を迎えるにあたって皆様にご挨拶させていただきます。

旧年中は皆様方に格別のご支援をいただきありがとうございます。平成25年はアベノミクスによる政治・経済の変化が見られた年となりました。平成24年12月の衆議院選挙、平成25年7月の参議院選挙により自民党政権が復活し、経済も長年続いた円高から円安傾向と変り改善の動きは見えました。しかし、東京などの中心地では経済的な恩恵は受けていても、長崎県の経済はまだまだ回復傾向にあるとは言えない状況です。医療に関しても診療報酬改定により大規模な大学などの急性期病院群は大幅な収入増により良くなっていますが、一方、中小病院や診療所では実質減収となっているのは明らかです。医療界全体が淘汰の時代に入っています。

追い討ちを掛ける様に平成26年4月の診療報酬改定においてもマイナス改定が濃厚になってきています。消費税が上がるにも関わらず、減収が見込まれることは多くの医療機関が苦しい経営を強いられる事と思われます。第一次安倍政権でも診療報酬はマイナス改定でした。そのスタンスは変わらないのかもしれません。

その中で私ども医療法人厚生会においても道ノ尾病院、虹が丘病院、共に生き残りを掛けて様々な取り組みを行いたいと思います。在宅の高齢者の為に平成24年開所したサービス付き高齢者向け住宅「れいんぼうハウス滑石」を中心に訪問看護、ホームヘルプサービスを充実してまいりました。デイケアにおいてもプログラムの見直しを行ない、利用者の要望に応えるべく努力してまいりました。就労支援事業所などの充実を図り、「かいこうどん」「かいこうパスタ」の生麺製造が増え、販売も始まりました。認知症の患者さまの外来や入院も増えております。

平成26年においても、いろいろな取り組みを行ないたいと考えますが、新年を迎えるにあたり、今一度原点に立ち戻り、医療法人厚生会の基本理念である「患者第一主義」の大切さを再認識したいと考えます。患者さま、ご家族さま、地域の皆様方に愛される病院となるために何が必要かを職員全員で考えたいと思います。基本方針である「挨拶と笑顔」がきちんとできているか、疾病や治療に対して十分な説明をしているか、など確認作業を行いたいと思います。職員が誇れる病院になっているか己を見つめ直したいと思います。そして、地域の皆様のご意見をいただきながら、愛される病院を作って行きたいと考えます。今年も多くの皆様のご利用とご意見をいただきますことをお願いして、新年の挨拶とさせていただきます。

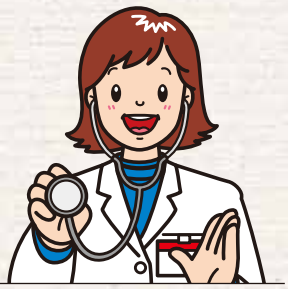
院　長
松本 一隆

平成26年新年を迎えるにあたり、まずは皆様へ昨年の感謝の意を述べさせて頂きます。昨年は道ノ尾病院、兄弟病院である虹が丘病院、近隣の医療機関、福祉施設など多くの皆様のおかげをもちまして、無事に乗り切ることができました。誠にありがとうございました。

昨年を振り返りますと、医局では、昨今の認知症患者様の増加に伴い、2月より当院内科医の芹田巧先生、北村慎一先生、竹村桂子先生が物忘れ外来を立ち上げ、今後より専門的に治療していける取り組みを始めました。また、6月より佐田美佐子先生、7月より大坪裕助先生、大坪郁子先生の3名の精神科医が就職され、外来、病棟業務を行って頂きました。医局外では、訪問介護ステーション、相談支援事業所「にじいろ」を立ち上げ、在宅患者様へのサービス、OT、PTによる訪問リハビリも始めました。デイケアも統合失調症、うつ病、認知症予防など病態別の区分けをし、質の高さを模索してきました。院内では、急性期治療とともに、長期入院患者様の退院支援を継続して行ってきました。弁護士の先生を招いてコメディカル、看護を中心に患者様への接遇に関係する障害者虐待防止法の勉強会を行うなど試みました。振り返りまして、改めてスタッフの方々の力で医療、福祉、リハビリなどが成り立ち、新しいものへ進化しているものだとつくづく感じております。

松本純隆理事長が普段から言っている「ソフトの充実には際限がない」ということを常に考えながら今年も日々精進していきたいと思います。何卒御指導・御鞭撻の程宜しくお願い申し上げるとともに新年の挨拶にさせていただきたいと思います。

新米になったからこそ考える今の自分



精神保健指定医
佐田 美佐子

昨年6月より道ノ尾病院に勤務しています。精神保健指定医の佐田美佐子です。

平成２年に医師になり、精神科にすすみ、現在に至っています。長崎市内の病院に勤務するのは久しぶりで、地域で活躍するいろいろな分野の方たちとも知り合いになってやっていけたらいいなと思っています。

道ノ尾病院の勤務医としては新米で、病院の中のことに慣れるにはもう少し時間がかかりそうです。

例えば外来診察。外来では自分で患者さんを呼び診察室に入ってもらうようにしてきました。患者さんの待合室での様子（同伴者がいる時はその人との様子なども）や、どのような表情や態度で診察室まで来るのかなど、いつもと違う何かを私に感じさせたり、診察室の中では気づかない患者さんを知ることもあり、このようにしているのは私だけではないと思いますが、大事にしてきたことの一つです。

そこで戸惑ったのが、規模の大きい道ノ尾病院の外来待合室の広さや患者さんの名前の呼び方です。まだ担当する患者さんは多くありませんが、他の先生方の診察を待っている患者さんも多い広い待合室では担当の患者さんを見つけられず、大きな声で呼ばなければならないこともあります。これまで勤務していた病院では、少数でしたが待合室で名前を呼ばれたくない人は希望されれば番号で呼んでいたので、大きな声で患者さんを呼んでいいのか迷ったり、名前も「さん」で呼んでいましたが、道ノ尾病院は「様」ですので、私もそうしていますが、診察中は「さん」になり、自分に矛盾を感じ、もう患者さんを呼ぶのは看護師さんにお願いした方がいいのかなど、「暇なんだね」と言われそうな、こういったたぐいのことを考えてしまいます。

道ノ尾病院の基本理念は「患者第一主義」です。話が少し大きくなってしまいますが、新米になったからこそ考える今の自分もよしとして、これまでの自分のあり方、これからの自分のあり方など考えながら、この基本理念を大事に仕事ができるよう努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

外来では、日時予約による診察を行っております。
初めて診察を希望される方は、日時予約による診察となりますのでご注意ください。
詳しくは地域連携室までお尋ねください。

外来新患予定表

外来診察		月	火	水	木	金	土
新患	午前	立木	楠本	山田	畑田	永田	当番医
	午後	佐田	大坪	岡崎	深澤	大坪	
もの忘れ外来	午後		竹村		北村	芹田	

※但し医師の都合により変更になる場合があります。

道ノ尾病院デイケア　20周年記念行事

この度、道ノ尾病院デイケアは地域の皆様のご理解とお力添えにより今年で20周年を迎えることが出来ました。20年の締めくくりとしてご家族、地域の皆様、関連事業所の方々へデイケアの活動と日頃の感謝の意を込めて、また皆様との交流の機会を設けることで通所者を正しく理解していただき地域で安心して生活できる環境となることを願い、開催に至りました。

平成25年11月16日、地域の方々に多数参加していただき盛大に行うことが出来ました。

タイムスケジュール

10：00　開会
あいさつ　デイケア担当医師：楠本四郎

10：10　各作業所紹介、販売開始、デイケア紹介

11：00　民踊（デイケア）

11：20　ゲストステージ（よもぎ会　第１部）

12：00　昼食

12：10　あいさつ　理事長：松本純隆

12：15　パネルディスカッション　「病院から地域へ」

13：40　ゲストステージ（よもぎ会　第２部）

14：20　ゲストステージ（翔＆チェレステ）

15：00　お楽しみ抽選会

15：15　合唱「川の流れのように」

15：20　あいさつ　院長：松本一隆

15：30　閉会

デイケア開設20周年に寄せて

10年ひと昔といいますが、ふた昔前グラウンド脇に小さなプレハブ小屋が建ちました。スタッフ２名、メンバー８名、それが道ノ尾病院精神科デイケアの原点です。あれから20年、時代の流れに乗り、日進月歩の成長を遂げ、今では当時の10倍以上にメンバー数も増えました。ますます高齢化は進んでいき、病床数にも限りがありますので在宅医療の一端を担うことができるよう取り組んでいきたいと考えています。

最後に、デイケアの活動を温かく見守って下さった理事長先生、院長先生をはじめ、病院の皆様方にこの場を借りてお礼申し上げます。

デイケアスタッフ一同より

文集発行のお知らせ

デイケア20周年記念行事に伴い、文集を発行いたしました。内容は、デイケア通所者の思い出や感想、詩や俳句、短歌と盛りだくさんです。

お問い合わせは、

道ノ尾病院デイケア（担当）土井・臼井・櫻井まで

障害者虐待防止法研修

平成25年9月6日、10日、27日　3日間で計5回に分けて全職員を対象とし490名が参加する職員研修を行ないました。講師に法テラス長崎法律事務所から伊藤岳弁護士をお招きして、平成24年10月より施行された「障害者虐待防止法」をテーマに講義を戴き、その話をもとに職種の壁を越えて『患者様によい看護、よいケアを行っていく為に大切なことは何か』を職員全体のグループワークで真剣に話し合いました。現在、障害者虐待防止法に精神科病院は規定されてはいませんが県内でこのテーマに取り組んでいる病院を他に知らないと伊藤弁護士より道ノ尾病院の先駆的な動きが評価されました。

参加者からも、「日々の業務を振り返りこれからもよい看護を提供していきたい」「他の部署と話合いができて勉強になった」等と感想を頂きました。

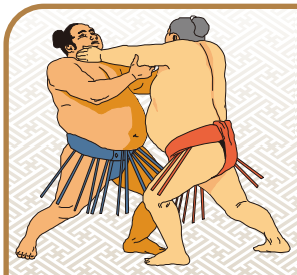
べてる講演会 「当事者から学ぶ自立支援」を開催して

去る平成25年12月2日午後7時00分から、当院みちのおホールで“べてるの家”講演会を開催しました。

社会福祉法人浦河べてるの家は、1984年に北海道浦河町に設立された精神障がい等を抱えた当事者のための地域活動拠点です。昆布や関連書籍の販売、幻覚妄想大会等のユニークな活動、あるがままの姿をそのまま受け入れる「べてる流」の生き方などで当事者や地域ケアに関わる人たちから注目されています。

講演会では、「当事者から学ぶ自立生活」をテーマに、人懐っこく誰ともすぐに仲良くなってしまう“ミスターべてる”こと早坂潔さん、穏やかで冷静、笑顔の素敵な“むじゅん社起業”秋山里子さん、べてるとそのメンバーに寄り添う浦河赤十字病院ソーシャルワーカーの高田大志さんのお三方に、浦河べてるの家の紹介、これまでの入院生活のこと、ご自身の体験、ソーシャルワーカーとしての役割などについて講演していただきました。133名の参加者には、我々スタッフや様々な現場で支援者として活躍される方々もたくさんおられ、彼らの話から「支援すること」について様々な思いを抱いた2時間となったと思います。また、突然の早坂さんから熱唱2曲披露という特別サービスやジンとくる一言などで、会場は終始、和やかな楽しい雰囲気に包まれました。参加いただいた当事者の方やご家族は、きっと励まされ勇気づけられたことと思います。今回の講演会が無事に終えられたのは、月曜の夜にもかかわらずご参加くださった多くの皆様のお陰と深く感謝いたします。

今後もこのような機会がありましたら、お知らせしてまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。



時津風親方訪問

昨年１１月３０日（土）九州場所を終えて、時津風部屋の時津風親方をはじめ時天空関、豊ノ島関の三人が慰問に来られました。

患者様や託児所の子供たちと、握手をされたり記念写真を撮ったりと短い時間でしたが、お相撲さんをはじめて見た方が多く、とても楽しい時間でした。

地域連携室勉強会

第27回「医療と司法の連携」

法テラス長崎法律事務所　弁護士 伊藤 岳さん　佐田 英二さん

今回は医療と司法の連携をテーマに事例を元にお話をして頂きました。弁護士が相談相手として身近に感じる事ができたという感想が目立ちました。

グループワークでは実際に連携をされている方もたくさんおられ盛り上がっていました。

第28回「つながる　ひろがる　アルコ～ル」（アルコール依存症の話）

道ノ尾病院　心理士 蒲池 美保　　精神保健福祉士 林田 尚子

アルコールの基礎知識や依存症への理解についての講義と事例をもとにしたグループワークを行い60名近くの参加者が交流をされました。「グループワークの時間が足りない」「もっと話したい」と大盛況でした。なかでも、地域包括支援センターから多く参加を頂きましたことが印象的でした。

次回予告　第29回　2月17日（月）「3年目のACT」訪問看護ステーションきらり　精神保健福祉士　山口長浩さん

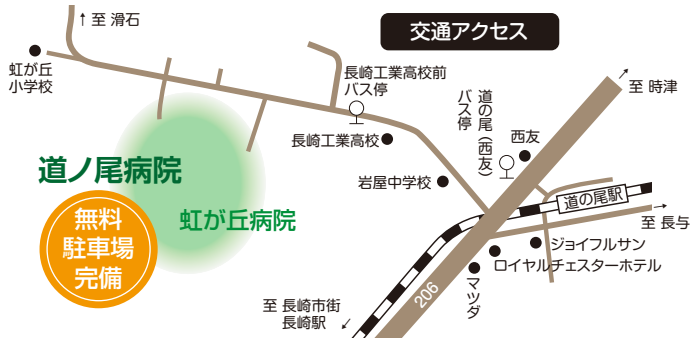
第30回　4月14日（月）「発達障害の話」（仮）長崎大学大学院医歯薬学総合研究科准教授（作業療法士）　岩永竜一郎さん

参加費は無料です。お問合せは、（担当）精神保健福祉士　西首・道越まで

道ノ尾病院携帯サイトができました

お手持ちの携帯のバーコードリーダーより上画像を読み取ってください。
お気に入りへの追加もお願い致します。
バーコードリーダーが無い場合は下記アドレスを直接入力してください。
http://www.michinoo-m.com

交通アクセス



新星 SHINSEI
題字：松本 寿美子
2014年1月25日　発行
2014.Vol. 9

発行　医療法人 厚生会　道ノ尾病院　「新星」SHINSEI 編集部
〒852-8055　長崎市虹が丘町１番１号
TEL 095-856-1111　FAX 095-856-4755